

令和5年度全国学力・学習状況調査結果について

1 実施日 令和5年 4月18日(火)

2 調査対象 第6学年児童50名

3 調査内容

(1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

①身につけておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

上記①と②を一体的に問う。

(2) 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

4 調査結果

(1) 教科に関する調査

国語は、全国平均を下回りました。
算数は、全国平均を下回りました。

(2) 児童質問紙調査

成果が見られた項目

- 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか。
- 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか。
- 授業で学んだことを、ほかの学習で生かしていますか。

課題が見られた項目

- 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか。
- 算数の勉強は好きですか。
- 今回の算数の問題では、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか。

5 学力向上の取り組み

今回の調査結果では思考力・判断力・表現力等に関する問題に課題が見られました。本校では今後、下記の点について重点的に取り組んでいきます。

- ・学級活動における話し合い活動を意図的・計画的に実施し、授業内容の充実を図る。
- ・算数の授業では、問題解決において、言葉や数、式を使って自分の考えを書く時間を設定し、表現力の向上を図る。
- ・授業では「まとめ」と「振り返り」の時間を確保し、ICTを積極的に活用しながら学習内容の定着を図る。
- ・「かしまっ子確認テスト」を通して、基礎・基本の定着を図る。
- ・学習支援員や学力向上教員との連携を図りながら、個々のつまづきに応じた支援に努める。

6 保護者の皆様へ

児童の家庭学習及び読書時間の確保について、ご家庭でのご協力をお願いいたします。

- 家庭学習について・・・家庭学習の時間の確保と習慣化。家庭学習カードのチェック。
- 読書について・・・家庭での読書の時間の確保。
- 地域行事等への参加・・・さまざまな人とふれあう中での生活体験の充実。